

「作家を志した瞬間(とき)」 ～想像から創造へ～

入場
無料

©Fukumori Kunihito



藤野 可織氏



対談



千早 茜氏

コーディネーター 草場 雅裕氏

(九州芸術祭文学賞佐賀県選考委員)

日時

2017年2月11日(土) 14時～16時(13時30分開場)

会場

佐賀市文化交流プラザ・エスプラッツホール
(佐賀市白山2丁目7-1)

定員

200人 ※先着順。事前のお申し込みが必要となります。

お申し込み

往復はがき、またはメールで名前、住所、連絡先の電話を記載してお申し込みください(1月末必着)。折り返し、整理券または整理番号を返信いたします。

往復はがき

〒840-8570
(郵便番号のみが届きます)
佐賀県文化課文化振興担当 宛て

メール

bunka@pref.saga.lg.jp

- 主催 (公財)九州文化協会、佐賀県、福岡県、大分県、長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、福岡市、北九州市、熊本市
- 共催 (公財)佐賀県芸術文化協会
西日本新聞社、福岡文化連盟
- 後援 佐賀新聞社

■内容についてのお問合せ
(公財)九州文化協会

TEL 092-406-8581 (平日10時～17時)

FAX 092-771-0189

メール kyubunky@elf.coara.or.jp

藤野 可織氏

(ふじの・かおり)

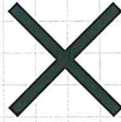


千早 茜氏

(ちはや・あかね)

1980年京都生まれ。同志社大学卒。同大学院修士課程修了(文学修士)。2008年まで京都市内の出版社でアルバイトをしながら小説を書いていた。06年「いやしい鳥」で文学界新人賞。13年「爪と目」で第149回芥川賞。「爪と目」は3歳の女の子が「あなた」について語るという錯覚を読み手に植え付けることから、ホラー小説と位置付けられた。京都市在住。

1979年北海道江別市生まれ。立命館大学文学部卒後、飲食店、医療事務、美術館アルバイトなどをしながら小説を書いた。美術が好きで、学生時代には自分の絵に詩をつけて個展を開いたことがあったが、詩の評判が高かったことから小説に向かった。09年「魚神」で第37回泉鏡花文学賞。13年「あとかた」で第20回島清恋愛文学賞を受賞した。



コーディネーター 草場 雅裕氏 (くさば・まさひろ)

九州芸術祭文学賞佐賀県選考委員 1959年佐賀県伊万里市生まれ。佐賀県立伊万里商業高校卒業後、横浜市で書店や出版社勤務。2002年独立して草場書房を立ち上げ。文芸書を中心に出版。13年から伊万里市に拠点を移し、16年から同賞選考委員。

芥川賞への近道

九州芸術祭文学賞に応募しませんか…

1970年に誕生した「九州芸術祭文学賞」(小説)は、公益財団法人九州文化協会が九州・沖縄各県、福岡・北九州・熊本の3政令指定都市との共催で運営し、本年度で47回を数えます。

各地区選考につづく毎年1月下旬の中央選考(選考委員は五木寛之、村田喜代子、又吉栄喜、『文学界』編集長の各氏)において最優秀作が選ばれ、『文学界』(文藝春秋刊)に掲載されます。中央の文壇の目が届きにくい地方の文学賞では異例のことで、第27回最優秀作『水滴』(目取真俊)は芥川賞に輝きました。

このほか、村田喜代子、又吉栄喜、大道珠貴の各氏ら芥川賞作家たちも、この文学賞を受賞して文壇にデビューしています。第48回の募集は本年5月1日にスタートします。

九州芸術祭文学賞から巣立った芥川賞作家たち

第7回最優秀作

「水中の声」村田 喜代子

▶1987年「鍋の中」で芥川賞

第8回最優秀作

「ジョージが射殺した猪」又吉 栄喜

▶1996年「豚の報い」で芥川賞

第27回最優秀作

「水滴」目取真 俊

▶1997年、同作で芥川賞

第30回最優秀作

「裸」大道 珠貴

▶同作で芥川賞候補

▶2003年「しょっぱいドライブ」で芥川賞